

光 迪

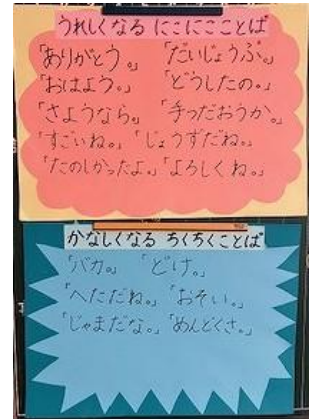
(こうてき) = 「広く大きなものを求めて進む」

—土岐小学校の精神—

笑顔あふれる土岐小学校に

校長 松井克仁

法務省の「人権週間(12/4～12/10)」に合わせて、本校では思いやりのある行動や言葉がけの充実を目指して、11月7日～21日を「ひびきあい週間」と位置付け、以下の取組を行いました。取組内容は、①「よいこと見つけ」の実施、②道徳の学習、③思いやり標語、の3つです。①については、期間中は「思いやり」に焦点をあて仲間のよさを紹介し合いました。「言われてうれしくなる言葉」をたくさん使い、「言われると悲しくなる言葉」は使わないようにしよう、と取り組みました。②道徳の授業については、「仲間(社会)とのかかわり」について考える道徳を通して思いやりの心を育みました。③については、保護者の方のご協力を得て、「思いやり標語」を考えていただきました。どれも素敵なお標語ばかりで親子で思いやりについて考えるよい機会にさせていただいたのではないかと思います。学級代表の標語は、昼の全校放送で紹介されました。



【温かい言葉を使おう(掲示)】

活動の締めくくりとして行った「ひびきあい集会」では、各学級の代表が取組の成果について発表しました。「優しい言葉が増えるとみんなの笑顔が増える」「優しい言葉をかけてもらえたから今度は私が優しい言葉をかけたい」など、本校で大切にしている「ぽかぽか言葉」を今後も大切にして「笑顔あふれる学校」にしていきたいという思いを全校で共有することができました。

「笑顔あふれる学校」にするために、子供たちも教職員も地域の皆様もみんなで思いやりの気持ちをもち互いに助け合える社会になるといいなと思います。そのためにも、もし地域で子供たちのよい姿を見かけられましたら大いに褒めていただきたいと思います。また逆に、よくない姿を見かけられましたらその場で叱っていただくとともに、「何がダメだったのか」を考えさせてやってほしいと思います。今後も子供たちのよりよい成長を願って、保護者・地域の皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。



【ひびきあい集会での発表】

よりよい学校にするために自分たちにできること

先日、後期委員会委員長の任命式と各委員会のスローガンの発表会を行いました。7人の委員長は、どんな学校にしていきたいかを熱く語り、委員会で話し合ったスローガンを堂々と発表しました。各委員会のスローガンは以下の通りです。

なかよし員会：「笑顔いっぱい にこにこいっぱい 思いやりあふれる土岐っ子」
図書委員会：「たくさんの種類の本を借り知識をパワーアップ!心を豊かにしよう」
生活委員会：「進んであいさつをし 笑顔あふれる土岐っ子」
放送委員会：「相手を見て『話す・聞く』を完璧に」
保健委員会：「換気をして かぜに負けない元気な土岐っ子!」
体育委員会：「寒い日でも外で元気に遊ぶ強い体の土岐っ子」
清掃委員会：「ていねいにそうじをして土岐ピカをめざそう」



【やる気一杯な委員長達】

学校の主役は子供たちです。委員会活動では、教師から与えられた取組をこなしたり、例年やっている活動をやったりするだけでなく、自分たちのアイデアと実践力でよりよい土岐小学校にすべくどんどん活動を進めていってほしいと考えています。全校みんなが笑顔で明るい学校にしていけるよう、これからの活躍を大いに期待しています。